

Michael Latner and Anthony McGann. 2005. "Geographical Representation Under Proportional Representation: The Cases of Israel and Netherlands" *Electoral Studies*. 24(3) pp.709-734

報告者：法学研究科 M2 <sup>ソングェヒョン</sup> 宋財法

## はじめに

- ・ 比例代表制は地理的な代表性を有するか
- ・ 比例代表制を採用している国の中で最も地域的代表性が現れるオランダとイスラエル
- ・ オランダとイスラエルにおいて、完全ではないものの地域的代表性が存在することを経験的に分析

## 両国の選挙制度

全国単一選挙区の比例代表制は共通

イスラエル(Knesset; クネセト)

- ・ 定数 120 の全国単一選挙区

オランダ(Tweede Kamer; 第二院)

- ・ 定数 150
- ・ 18 の区域<sup>1</sup>ごとに名簿(最大 30 人)があり、政党や候補者に投票(重複立候補可)
- ・ 議席配分は全国得票、当選者は区域内の得票に基づく

党内の地域主義的要素

- ・ オランダ(労働党 ; PvdA、キリスト教民主アピール ; CDA)  
：党中央で候補者選出のためのガイドライン提示→地方組織で最終決定
- ・ オランダ(自由民主国民党 ; VVD)  
：中央集権的
- ・ イスラエル(リクード、労働党)  
：候補者選出のための予備選挙(全国単位と地域単位 50%ずつ。ただし全国単位で選ばれた候補者が名簿の上位)

## 仮説

議員は首都にある国会において活動するため、首都圏居住の議員が多い。しかし、全国にわたって政治的アピールをする必要があると制約される。

⇒H1:首都圏<sup>2</sup>は過大代表される。

---

<sup>1</sup> 現在は 19 区域

<sup>2</sup> オランダの場合、北ホラント州(Noord-Holland ; 憲法上首都のアムステルダム<sup>1</sup>の所在地)、南ホラント州(Zuid-Holland ; 事実上首都のデン・ハーグ<sup>2</sup>の所在地)、ユトレヒト州(Utrecht)、イスラエルの場合、国際的に首都として認められるテルアビブがあるテルアビブ(Tel Aviv)地区とイスラエルが首都として主張しているエルサレムがあるエルサレム(Jerusalem)地区とその真中に挟まれている中央地区(HaMerkaz)

□地域主義が存在する地域において政党は得票極大化のために、その地域の候補者を擁立するようになる。

⇒H2:地域のアイデンティティが強い地域は過大代表される。

□勝ち目がない地域には気を配るインセンティブが小さい  
圧倒的に強い地域は少しだけ気を配っても安定的な得票が可能  
普通に強い地域はリソースの限界効果が大きい

⇒H3:基盤が強い地域は過大代表されるが、圧倒的に強い地域ではそうではない。  
(逆U字型)

※しかし、多党制の場合はどの地域においても圧倒的な影響力を持ちにくいいため線形に近くなる

※小選挙区制とは違い、50%を超過した得票も議席とつながるため基盤が弱い地域に気を配るインセンティブは小選挙区制などよりは高い

□一票の限界効果は50%未満・超過と関係なく一定であるため、支持が弱い地域でもリソースと投入するインセンティブが存在

⇒H4:全国単一選挙区のPRは政治の全国化をもたらす(リソース配分の地域的バランス)

□比例代表制においてジェンダーやエスニック集団という基準を用いて名簿内の候補者数を調整するが、地域という基準を加えることで、その調整はより難しくなる

※名簿が短いほど、この傾向は明らかに

⇒H5:地域的に過大代表されると、ジェンダーやエスニック集団の代表は不均一になる

## 分析結果 1 : 地域代表性のパターン(仮説 1, 2)

□ジニ係数による比較では両国において大きな差はなく(0.79, 0.74)、やや偏っている。

□オランダ

・首都圏の3州は過大代表される(代表性指標 1.32~1.44)

⇒仮説 1 ○

・首都圏から離れ、辺境に位置するフローニンゲン州(Groningen ; 東北地方)、ゼーラント州(Zeeland ; 西南地方)

⇒仮説 2 ○

□イスラエル

・首都圏の2地区<sup>3</sup>は過大代表(代表性指標 1.31~1.56)

ただし、最大の人口を有する中央地区(HaMerkaz)はむしろ過小代表

⇒仮説 1 ○ (オランダよりは弱)

<sup>3</sup>テルアビブ(Tel Aviv)地区とエルサレム(Jerusalem)地区

- ・ユダヤ・サマリア地区(Judea and Samaria Area; West Bank)、ガザ地区(Gaza Strip)も過大代表(文化的異質性および政治的重要性)

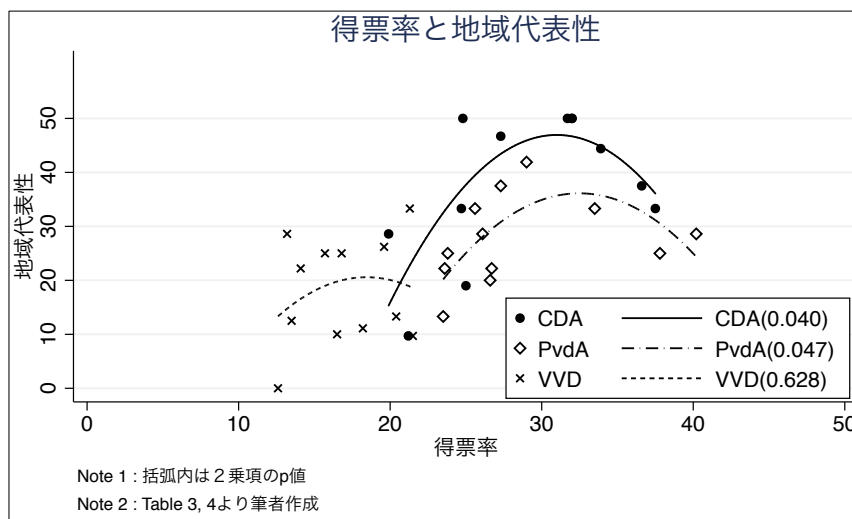
⇒仮説 2 ○

- 共通して首都圏に隣接する州・地区は過小代表される傾向  
：国の領土が小さいため首都圏からいつでもすぐ行けるため

### 分析結果 2：地域と政党間競争(仮説 3, 4)

- 各政党の地域ごとの得票率を X 軸、その地域を代表する議員の割合を Y 軸

- オランダ



- ・キリスト教民主アピール(CDA)、労働党(PvdA)は逆 U 字型の関係が確認

⇒仮説 3 ○

- ・自由民主国民党(VVD)は首都圏に得票が集中し、仮説通りのパターンが確認できず

⇒仮説 3 ×

※その他の小政党は特定に地域に集中する傾向

- ・得票の全国化：大政党(CDA,PvdA,VVD)は全国にわたって均一的な支持(Table 3, 4)

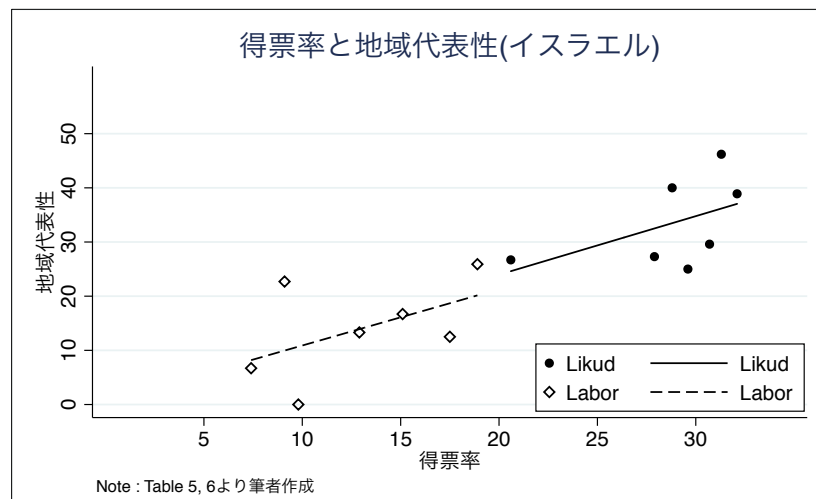
※首都圏とフレヴォラント州においては三大政党が競争的。そのたの地域では三大政党のうち特定の政党が相対的な優位

- ・議員の出身地：三大政党はやや偏っているが全国化

小政党は特定の地域に偏重

⇒仮説 4 ○

## □イスラエル



・どの政党も支配的な地域を持たないため、2次曲線のような関係は現れず  
⇒仮説3△(直線的な関係に近い)

※その他の小政党は地域的に集中(メレツ(Meretz)、国民宗教等(NRP)を除く)

・得票の全国化：リクード、メレツは全国化、労働党はエルサレムで低い<sup>4</sup>  
小政党は不均一

・議員の出身地：リクードは全国から、メレツと労働党は一地区を除く全国  
小政党は不均一

⇒仮説4○(オランダより弱)

### 分析結果3：地域とジェンダー、エスニック集団の代表(仮説5)

□地域代表と記述代表(ジェンダー、エスニック集団)の間のトレードオフ関係の検証

## □オランダ

- ・首都圏とフローニンゲン州において女性が過大代表(仮説1とほぼ同様)
- ・また海外出身の議員は全て首都圏に

⇒仮説5○

・政党別にみると左派政党の女性議員が多く、海外出身の議員は三大政党に多い

## □イスラエル

- ・オランダとは違い、地域代表の程度と記述代表の程度には関係が見られない。  
(過小代表された中央地区(HaMerkaz)の女性代表が多いことなど)
- ・エスニック集団が最も代表される北部地区(Hafazon)は地域代表の面では過小代表  
(北部地区はアラブ民族が多いため(53.2%))

⇒仮説5×

<sup>4</sup> 2003年選挙における労働党の惨敗の影響が考えられる。

- ・宗教的な理由により女性の代表性が低い(大政党は比較的が高く 20%以上)
- ・エスニック集団(非ユダヤ人)は主にアラブ系政党によって代表

## 結論

	オランダ	イスラエル
仮説 1	○	○
仮説 2	○	○
仮説 3	○(Strong)	○(Weak)
仮説 4	○	×
仮説 5	○	×

### □PR において地域代表性が現れる規定要因

- ・社会文化的クリーヴィッジが地理的な境界で区分されている

□社会文化的クリーヴィッジ地域が重ならない地域において、全国区 PR は地域代表を  
表出、および代表と重要な争点をリンクさせる役割を果たせうる。

∴これから PR を対象に研究するときジェンダーやエスニック集団の代表性だけでなく  
地域代表性も考慮すべき

## コメント

- ・普段、地域代表性を欠いていると思ってきた PR の新しい側面を検証したことは意義深いと思う。
- ・ただ、著者も最初に明記したとおり、オランダとイスラエルは PR の下での地域代表性が最も明確な国であるなら、これは一般的な話ではなく外れ値の分析になるのではないか。もし、そうだったらどのような政治的文脈によって地域代表性が明確になったかを明らかにすべきだろう。
- ・また、議席数が少ないため、小さい議席数の変動に敏感すぎるのではないか。集計データを使っているので、もう少し頑張れば N を増やせると思う。